

11月例会開催 ～大山とお地蔵さまを知る～

11月10日、大山寺参道で継続準備委員会が主催し、会員ご家族も招き開催された。



冒頭の山口会長の挨拶では、会員ご家族にむけて改めて当会活動についての説明の後、日々の活動に対するご理解やご協力に感謝すると共に、今後より一層

のご支援を賜りたいとのお言葉があった。

続いて石田委員長より趣旨説明が行われ、今期で5回目となる

大山お地蔵さまフェスティバルのイベントとして、会員及び会員ご家族で大山寺参道にあるお地蔵さまを清掃することにより、大山の自然と文化に触れることをテーマとし、大山とお地蔵さまを通じて子供たちの成長に関わり、実際にお地蔵さまに触れることで大山とお地蔵さまを改めて知る機会としたいという旨を述べた。



第1部では「じげの紙芝居」として伯耆・伝承隊のお二人に「大山のお話」と「お地蔵紙芝居」を上演していただき、参加した子供たちは終始、伝承隊の語りを真剣に聞き、紙芝居に見入っていた。最後には大きな拍手が起り、子供たちだけでなく大人にも興味深い内容であった。

第2部ではお地蔵さまの笠作りと第5回大山お地蔵さまフェスティバルに使用

するステージパネルの装飾が行われた。用意された編み笠に子供たちや会員が思いの絵を描き、笠の内側には願い事を書き記した。ステージパネル装飾は手の平に絵の具をつけ、大小の色鮮やかな手形をたくさんつけることで華やかなステージパネルができあがった。



昼食後、第3部でお地蔵さま清掃が行われ、豪円山周辺、大山寺参道、大山寺山門の三手に分かれて清掃と第2部で制作した編み笠をお地蔵さまにお供えた。清掃中には観光客や地元の方からお声掛けを頂き、活動の周知に繋がるのではないかと感じられた。

清掃が終了すると大山寺本堂前に集合し、大館住職よりお地蔵様は一番身近な菩薩様であることや、大山は古来、山体そのものが信仰の対象であったことなどのお話を頂戴した。

最後に第5回大山お地蔵さまフェスティバルの成功を祈念し、山口会長が本堂の鐘を突き、一同合掌して閉会した。今回の例会を通して当会の活動が少しずつ地域に根付きつつあることを感じられた。

(記事:長谷川)

11月例会を終えて

継続準備委員会 石田倫章委員長
(ウィルビー株) 管理課 課長



11月例会にご参加頂きました皆様、ありがとうございました。急な開催日変更があり、会員そしてご家族の皆様にはご迷惑をお掛けする事となってしまいましたが、当初の予定と大きく変わらないご参加を頂き、感謝申し上げます。

11月例会は『お地蔵さまプロジェクト』の一環として、大山の地で行わせて頂きました。大山とお地蔵さまについて紙芝居で学んで頂いた後、ご参加頂いた会員ご家族の手によって色とりどりなお地蔵さまの笠ができあがり、子供達がそれを楽しそうに大山のお地蔵さまに掛けていく姿を見て、企画して良かったと感じました。

また、会員皆様におかれましては、大山とお地蔵さまの関係について改めて学んで頂いたのではないのでしょうか。その事を、5月に行われる『大山お地蔵さまフェスティバル』にて、来場する子供達に伝えていって頂ければと思います。

フェスティバル開催には会員皆様のお力をお借りする事になります。これから様々なお願いをさせて頂く事になるかと思いますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

12月例会に向けて

広報委員会 渡邊公平委員長
(有)渡辺商店 主任



12月16日に開催する12月例会では今年の甲子園に春夏連続で出場を果たした米子東高等学校野球部監督の紙本 庸由 氏をお招きして、「組織を結果に導く手法(原田メソッド)」と題して講演して頂きます。「目標達成は才能ではなく技術である」という原田メソッドを通して、我々が属する中小企業において目標達成することで得られる個人の成長や人財育成などについて、また紙本監督がこの様に指導者として結果を導いた道のりをご自身の経験をもとに解説して頂きます。部員数や資金面で潤沢な強豪校と、どう戦うかという観点で見ると、大企業と対峙する中小企業が活路を見いだせる内容となります。是非とも令和元年最後の例会となりますので会員の皆様奮ってご参加をお願いします。

例会終了後には忘年懇親会を開催します。楽しい企画をご用意しておりますので、この一年を締めくくる良い一日になること間違いありません! 広報委員会一同お待ちしておりますので何卒よろしくお願ひ申し上げます。

委員会紹介 総務委員会

副委員長 徳中太慈 (大連 店主)

こんにちは、第45期総務委員会です。私達総務委員会は、3名の卒会予定者、今期入会の新入会員を含め現在17名で活動している委員会です。住委員長の掲げられた委員会テーマ「真心」のもと、中央会内外の方々におもてなしの心をもって活動をしています。今期は新入会員オリエンテーションも担当させていただいており、新入会員の皆様に会のことを理解して頂き、より魅力を感じてもらえるよう、委員会内で活発に議論しています。

個性的なメンバーが揃っており、委員会での活発な議論はもちろん、懇親会の場でも大変盛り上がります。早いもので1年

間の活動の約半分が終わり、寂しい気持ちもありますが、まだまだこれから大きな事業が残っています。委員会メンバー一丸となり笑顔で楽しみながら全力で駆け抜けたいと思います。



中小企業団体全国大会

第71回中小企業団体全国大会が11月7日(木)に鹿児島市の鹿児島アリーナにて開催され、東中西各地区より総勢27名で参加してきました。

薩摩示現流の演武や霧島九面太鼓など鹿児島の文化と歴史を感じさせるアトラクションで幕を開けた大会では中小企業等連携組織対策の拡充などの議決案が採択され、次回開催地の茨城県の紹介で閉会となりました。その後の懇親会では黒豚料理に舌鼓を打ち、他地区の仲間と共に和気藹々と鹿児島の夜を満喫しました。

参加されたことのない方も一度全国大会に参加されてみては如何でしょうか。

(記事: 濱田)



令和元年度鳥取県西部地区青年経済団体連絡協議会事業

11月19日(火)米子ワシントンホテルプラザにて令和元年度鳥取県西部地区青年経済団体連絡協議会事業が行われた。今年度の幹事団体である当会、鳥取県西部中小企業青年中央会より山口尚文会長が挨拶、堀尾一仁副会長が趣旨説明を行った。

続いて竹村公太郎氏を講師に迎え、第1部では「『地形』から見る都市の発展」～視点を変えれば本質が見えてくる～と題して講演会が行われた。地形から歴史を学び、そして気候変動による自然の狂暴化、地球環境の悪化、エネルギーの逼迫する中50年後、100年後の為に今後どうしていくべきかを熱く語られた。また、第2部では「地域にとって必要なインフラ



とは」と題し、各団体の代表者による質疑応答、ディスカッションが行われた。

その後同会場にて懇親会が行われ、会場の至る所で名刺交換が繰り広げられた。そしてeスポーツ大会が開催され、各団体選抜メンバーによる懐かしのストリートファイターIIでの熱い戦いが繰り広げられた。eスポーツ大会は大いに盛り上がり、最後に各団体によるPRが行われ、盛会のうちに閉会となった。

(記事: 仲佐)



「ほうきの国」魅力共感プロジェクト



岡田英憲
(株)ライトスタッフ 取締役

11月2日、日吉津村の海浜運動公園キャンプ場にて「炎を囲み、じげの味を食す」と題し、所属する地域ビジョン委員会の基軸となる活動である「ほうきの国魅力共感プロジェクト」を行いました。我々の住む「ほうきの国」エリアの魅力を再発見し、その魅力を皆で共感し自身が楽しめる企画を実施するプロジェクトです。

今回は、郷土料理の「ののこめし」を油揚げに詰め、だし汁でじっくり炊き上げ、アツアツの出来立てを味わい、普段とは違う美味しさに舌鼓を打ちました。また、特産品でもある「ルビー豚」を使っのBBQや、茹でた「ズワイガニ」も用意し、食材の良さを感じながらじげの味を楽しみました。また語り部として、有限会社 こめや

産業の浜田OBにお越しいただき、キャンプファイヤーを囲みながら、ののこめしの魅力について語っていただきました。

少々肌寒い時期でしたが、参加いただいた会場の皆さんと一緒にほうきの国の風を感じ、味わい、体験し、地域の魅力を共感し、楽しい時間を過ごせたのではないかと思います。



県親睦事業開催

10月26日、東浜海岸野外施設にて県の親睦事業が開催されました。冒頭の林県会長の挨拶では「東浜海岸はジオパークに認定され、寝台列車『瑞風』の停車駅もある。夏は海水浴客で賑わうこの地で地区にとらわれず横の繋がりを作って欲しい」と述べられました。

今回の親睦事業では竹で食器や箸を製作し、それらを使ってBBQをしました。中には火起こし用の火吹き筒を作った人も！懇親会の最中にはチーム対抗の射的大会があり、サバイバル能力が試された一日でした。参加者全員が協力して何かを作り上げ、一緒に同じ火を囲んで食事するっていいですね。

最後は濱田直前県会長の「県事業は数こそ少ないが親睦を深め、地区も県も盛り上げて欲しい」とのお言葉で締めくくられました。準備された県出向の皆さま、お疲れ様でした！

(記事:高田)



卒会者より愛を込めて

村田 博(村田家株 代表取締役)



あらためまして、こんにちは！第39期入会の村田 博です。早いもので、もうこの卒会年度を迎える事となり、少しさみしい気持ちにもなります。又、色々な仲間と出会い、色々な役もさせて頂きました。その上で、とても貴重な経験ができ、楽しかった気持ちにもなります。この会は立場が人を育て、又、その与えられた立場を本気になって演じ、委員会・例会を創り上げる。まさに、究極のエンターテイメントだと私は思います。そこで出会った仲間や培った知識・知恵は本当の意味で宝になりました。又、現役会員のみならず、多数のOB会員の皆様と繋がっています。大抵の事は当会のメンバーで出来てしまえる西部青年中央会に入会させて頂いた事を誇りに思います。現役会員の皆様、もっともっと繋がって下さい。必ず、力になって頂けると思います。

かなり羽目を外して来ましたが、今まで温かく見守って下さった諸先輩の皆様、共にスクラムを組んで頂きました現役会員の皆様、お世話になりました。

最後になりますが、心から愛を込めて、皆様、ありがとうございました！バイバイ！！

戸田博之(有戸田油店 取締役)



いつもお世話になっております。なんと今期で卒会を迎えることになっている戸田です。

中央会に入会したのは平成25年4月。人付き合いが苦手。しゃべるのも苦手。体育会系も苦手。お酒も飲めない。そんな私は、一番中央会に向いてないかもしれません。狭い社会、友好関係の中で過ごしてきた私は、入会した当初、えらいところに入ってしまったな、と。多分すぐ辞めるんだろうなと思っておりました。なんか自分にとって場違いな所に来てしまったように思っています…。

そんな私も、仲良くしてくれる人ができ中央会が楽しくなってきた、いつの間にか卒会を迎えようとしております。中央会に入らなければ一生知り合うことがなかったであろう友達もできました。役もしておりませんし、中央会の深くまで触れているわけではありませんが、自分のかかわり方次第で、たくさんの可能性が詰まっている会だと思えます。人付き合いの勉強のつもりで入会した中央会でしたが、入会して本当に良かったです。

もし、中央会に入会したけど自分には合わない、辞めたいと思っている人がおられたら、もう少し頑張ってみてください。もったいないですよ！

会長連載

道なき道を

第45期 会長 山口尚文

私は、7年前から大晦日に同級生の3家族と餅つきをしています。それぞれの家庭に2人ずつ子供がいるのですが、最初に開催した時は、どの子も幼くて、大人だけで餅をついた記憶があります。そして、歳を重ねる度に衰えていく大人たち... それとは対照的に、どんどん戦力になっていく子供たち。そんな機会に触れると「人間ってこうやって繋いで来たんだな」なんて拡大解釈してしまったりもします。

きっと今年も開催することになるとは思いますが、そろそろ主力の座も危うくなってきていますが、簡単に明け渡すわけにはいきません。もう少しだけ踏ん張って、大人の力を見せつけてやります！

中海テレビ放送杯 準決勝 山内正樹 (有サンユービルド 専務取締役)

中海テレビ放送杯、ついに準決勝まで来ました！

竹ノ内参与、景山(慎)会員、永井会員と継投で繋ぐも、最終回の攻撃の前に0-5と苦戦を強いられます。しかし、ここから驚異的な粘りで繋ぎ、木嶋(雄)会員の2塁打でついに1点差。一打逆転サヨナラという場面まで追い込みましたが、惜しくも決勝進出はなりませんでした。

当日球場に足を運んでいただいた会員の皆様、差し入れていただいたOB会員の皆様、本当にありがとうございました。来年は竹ノ内参与、松田参与、西田副会長がチームを去られますが、新生野球部でリベンジしたいと思います！



お祭り探検隊 ～つながるマルシェ&地ビールフェスタ～

令和元年10月26日(土)にひまわり駐車場にて「つながるマルシェ&地ビールフェスタ」が開催されました。鳥取県西部の9市町村(境港市、米子市、南部町、伯耆町、江府町、日野町、日南町、大



山町、日吉津村)が協力して、それぞれの町の特産品販売を行いました。当日はハロウィンも近いことから、仮装した来場者が多数おられ会場は大いに盛り上がりました。午後からはあいにくの雨となりましたが、各市町村にまつわるクイズや、富有柿で有名な南部町ゆかりの柿の種とぼし大会、ミニコンサートなど多くのステージイベントが目白押しでした。

私は日吉津村からの出店という事で、キクラゲ、ヒラタケの販売のほか、生しいたけの袋詰め放題を実施。老若男女問わず、一生懸命、袋いっぱいにしていただき、詰め込んでいただき、喜んでいただきました。



地ビールフェスタでも牛肉串やから揚げなどビールに合うおつまみを片手に多くの方が地ビールを楽しんでおられ大盛況に終えることができました。

(記事:白井)

新入会員オリエンテーション

川原聡司(米子ガス(株) 副グループ長)



2019年11月20日(水)米子市公会堂にて新入会員オリエンテーションが開催された。冒頭に山口会長の挨拶があり、恵比木専務理事から今期のスローガン、テーマや、年間活動指針について説明を

頂いた。続いて総務委員会の皆様から当会の組織、関連団体、選挙活動に対する方針、OB会の関係、皆生トリアスロンとの関わり、広報誌とホームページ、周年事業、継続事業について詳しく順次、説明が行われた。質疑応答を経て秋里直前会長の総評があり閉会となった。

その後の懇親会では、先輩会員から中央会への想いを語っ

て頂いた後、新入会員各自の目標表明があった。和やかな雰囲気の中、四役の方々をはじめ先輩会員の方々と交流を深め、中央会の事をより深く知ることが出来た一日となった。



12月役員会報告

令和元年12月2日(月)米子市公会堂 集会室5にて12月役員会が開催されました。議題は以下の通りです。

- ・11月例会開催報告の件
- ・12月例会開催の件
- ・1月新年例会開催の件
- ・その他

※なお、詳細については各委員長までご確認下さい。

役職変更のお知らせ

永井拓未 会員

(旧)株式会社クラム 営業部長

(新)株式会社クラム 代表取締役社長

お手数ですが会員手帳の修正をお願いします。

編集後記

災害列島日本。今や全国どこで甚大な災害が起こるか分かりません。子育てや働く環境など、絶対的安心を手に入れることは難しいかもしれませんが、一日一日を家族や仲間と大切に過ごしたいと思う今日です。

(広報委員会 高岩雄一)